

# 軍需工場の進出(1)

田無町では昭和初期に中島飛行機発動機試運転工場が開設され、「谷戸のブウブウ」とあだ名されるほどの騒音公害を引き起こしました。その後、1937(昭和12)年の日中戦争開始前後から軍需工場の進出が本格化し、中島飛行機田無鋳鍛工場(後に中島航空金属と改称)のほか、豊和重工業、東洋鍛工田無工場などが相次いで開設されました。また、工場の進出にともなって社宅も増え、人口が急増しました。

